

平成 30 年度 事業報告書

1 法人概要

法人名称 社会福祉法人 斉慎会（平成14年2月28日設立）

主たる事務所 〒438-0026 静岡県磐田市西貝塚2111番地1

理事長 早野 雄二郎

理事 大橋 正己

南 貴晴

早野 いく子

山崎 俊洋

小川 正信

成田 将史

監事 鈴木 靖男

名波 公彦

事業の種類 1. 第一種社会福祉事業

(1) 特別養護老人ホームの経営

2. 第二種社会福祉事業

(1) 老人短期入所事業の経営

(2) 老人デイサービスの経営

3. 公益を目的とする事業

(1) 居宅介護支援事業

2 基本理念

1. 尊厳を守りその人らしさを尊重します

一人ひとりが人としての尊厳をもち、安心してその人らしい生活を送ることができるよう、その人らしさを受け止め、常にご利用者の立場に立って信頼と納得の得られる良質なサービスを提供します。

2. 充実した活力のある生活となるよう援助します

その人の持っている能力や知識・経験の活用を図るとともに、環境の整備や適切な援助による趣味や文化・社会活動への参加支援など、その人にとって幸福で充実した生活、生きる楽しみと明日への希望がもてるような生活を目指して創意工夫に努めます。

3. 地域福祉の推進に努めます

施設は、社会資源として地域に還元し、保健・医療・福祉関係分野との連携を図りながら、地域福祉の推進拠点として多様なニーズに対応し、地域に暮らす人々が地域で支えあい共に生きる福祉文化の発展に貢献します。

平成30年度の介護保険制度改正では、介護サービスの利用料の負担割合が最大3割になるとともに、「介護医療院」及び「共生型サービス」が創設され、介護報酬は全体で0.54%のプラス改定となりました。ただし、デイサービスではサービス提供時間の見直しが行われた結果、実質的には基本報酬が引き下げとなっています。併せて、デイサービスを利用する高齢者の自立支援や重度化防止に繋がる取り組みについて「アウトカム評価」による加算（ADL維持等加算）が初めて導入され、特養では配置医師緊急時対応加算、褥瘡マネジメント加算、排せつ支援加算などが新設されるなど、今回の改正は自立支援介護・重度化防止の方向性が明確に示されました。今年度は、ご利用者に提供する各種サービスにおいて介護保険制度の改正に対応していくことが課題の一つでしたので、インターネットを活用するなどして早期の情報収集を行い、新設された加算の要件に適合する体制の整備や新しい業務の仕組み作り等に取り組みました。新加算算定の取り組みは、ご利用者の安心、安全の向上、またご利用者の重度化防止など、サービスの質の向上に繋がったとともに、介護報酬額も新加算分がプラスオンとなり収入増加に繋がりました。

地域や社会に向けた活動としては、事業計画に沿って認知症サポーター養成事業、県社協が主催する研修への認知症指導者派遣などを行い、また新たな取り組みとして今年度初めてオレンジカフェを開催しました。オレンジカフェは、厚生労働省がオレンジプランのなかでその普及を謳っている「認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場」です。磐田市中部地域包括支援センターのオレンジボランティアにご支援とご協力をいただき、西貝の郷、西之島の郷それぞれの施設で各1回開催しました。認知症の人だけでなく、介護技術や介護サービスに関心のある方々にご参加いただくことができ、今までお付き合いのなかった方々と交流することのできる良い機会となりました。

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少のなかで、介護サービスを担う人材の確保も平成30年度の重点施策でありました。従来、採用活動は管理職のみで行ってきましたが、新しい試みとして介護現場の若手職員にも参加してもらい、職場や仕事の情報、介護のやりがい等を直接伝えてもらうようにしました。就職フェアでは、若手職員が参加することで雰囲気華やかになり、学生や若い求職者が気軽に立ち寄ることができるようになったことで、ブース来訪者数は大幅に増加しました。また、介護の実習生の受け入れを積極的に行っており、実習生に対しては他施設以上に充実した指導や支援を行い、実習の満足度を高めることで就職へと結びつけることができます。人材確保に向けては、新規採用と並行して職員の待遇改善による離職の防止に努め、常勤の介護職員の賞与支給率アップ、非常勤職員の給与水準の引き上げ等を実施しました。併せて、掛川地区の介護事業所主催のフットサル大会に参加したり、他施設との合同忘年会を開催するなどして職員間のコミュニケーションを深めるとともに、施設の枠を超えて同じ仕事に取り組む仲間との交流を図りました。

社会福祉法人運営の面では、役職員一同、新社会福祉法に則って適正な運営を心掛けました。評議員会の開催は、今年度、第2回目となり、議決機関として必要な審議を行い、理事会は法人の業務執行の決定や理事の職務執行の監督などの必要な職務を適正に遂行しました。また、インターネット等での情報公表も積極的に行っています。今後も、各種法令を遵守し、公正で地域に開かれた法人運営を継続していくことで、地域に愛される社会福祉法人となるよう努めていきたいと考えています。

一 会議関係

(1)評議員会

開催日	主な審議事項
平成 30 年 6 月 25 (月)	(1) 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度社会福祉法人斉慎会計算書類 (案) の承認について ・非常勤役員等の費用弁償及び報酬に関する規程の一部改正 (案) について (2) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度社会福祉法人斉慎会及び施設等事業報告

(2)理事会

開催日	主な審議事項
平成 30 年 6 月 4 日 (月)	(1) 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度 事業報告 (案) について ・平成 29 年度 収支決算 (案) について ・平成 30 年度 定時評議員会開催 (案) について ・嘱託医契約の承認について ・清掃業務委託契約の承認について (2) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度予算の予備費使用について ・監事監査の結果について
平成 30 年 10 月 22 日 (月)	(1) 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の一部改正 (案) について ・給与規程の一部改正 (案) について (2) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・理事長職務執行状況報告
平成 31 年 3 月 18 日 (月)	(1) 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度 補正予算 (案) について ・2019 年度 事業計画 (案) について ・2019 年度 当初予算 (案) について ・デイサービスセンター西貝の郷 (指定通所介護) 運営規程等の一部改正 (案) について ・就業規則の一部改正 (案) について ・妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシュアルハラスメントの防止に関する規程 (案) について ・育児・介護休業等に関する規程の一部改正 (案) について ・2019 年度 業務委託等契約 (案) について (2) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・理事長職務執行状況報告 ・実地指導等の結果報告

二 監事監査

開催日	監事	記 事
平成 30 年 6 月 4 日 (月)	鈴木監事、名波監事	決算監査（「監事のための監査チェックマニュアル」社会福祉法人社会福祉協議会発行（改訂第 8 版）による）
平成 30 年 6 月 4 日 (月)	鈴木監事、名波監事	平成 30 年度第 1 回理事会出席
平成 30 年 9 月 14 日 (金)	名波監事	西貝の郷期中監査（預金通帳残高照合、月次試算表、現金出納帳、小口現金出納帳、各種伺い書等確認、他）
平成 30 年 10 月 22 日 (月)	鈴木監事、名波監事	平成 30 年度第 2 回理事会出席
平成 30 年 12 月 14 日 (金)	名波監事	西之島の郷期中監査（預金通帳残高照合、月次試算表、現金出納帳、小口現金出納帳、各種伺い書等確認、他）
平成 31 年 3 月 18 日 (月)	名波監事	平成 30 年度第 3 回理事会出席

三 地域貢献・地域福祉の推進

年月日	項目	記 事
平成 30 年 7 月 19 日 (木)	認知症サポーター養成講座	城山中学校にて。三年生 62 名参加。
平成 30 年 6 月 24 日 (日)	オレンジカフェ	西貝の郷にて。参加者 36 名
平成 30 年 10 月 10 日 (木)	認知症サポーター養成講座	西貝の郷にて。神明中学校 3 年生 30 名
平成 30 年 10 月 11 日 (木)	認知症サポーター養成講座	西貝の郷にて。神明中学校 2 年生 9 名
平成 30 年 11 月 25 日 (日)	オレンジカフェ	西之島の郷にて。参加者 39 名

四 情報公表

公表事項	公表方法
事業報告書	事務所備え置き
決算関係書類	事務所備え置き、ホームページ、財務諸表電子開示システム
現況報告書（役員報酬等含む）	事務所備え置き、ホームページ、財務諸表電子開示システム
定款	事務所備え置き、ホームページ
役員報酬基準	事務所備え置き、ホームページ
事業計画書	事務所備え置き

五 その他

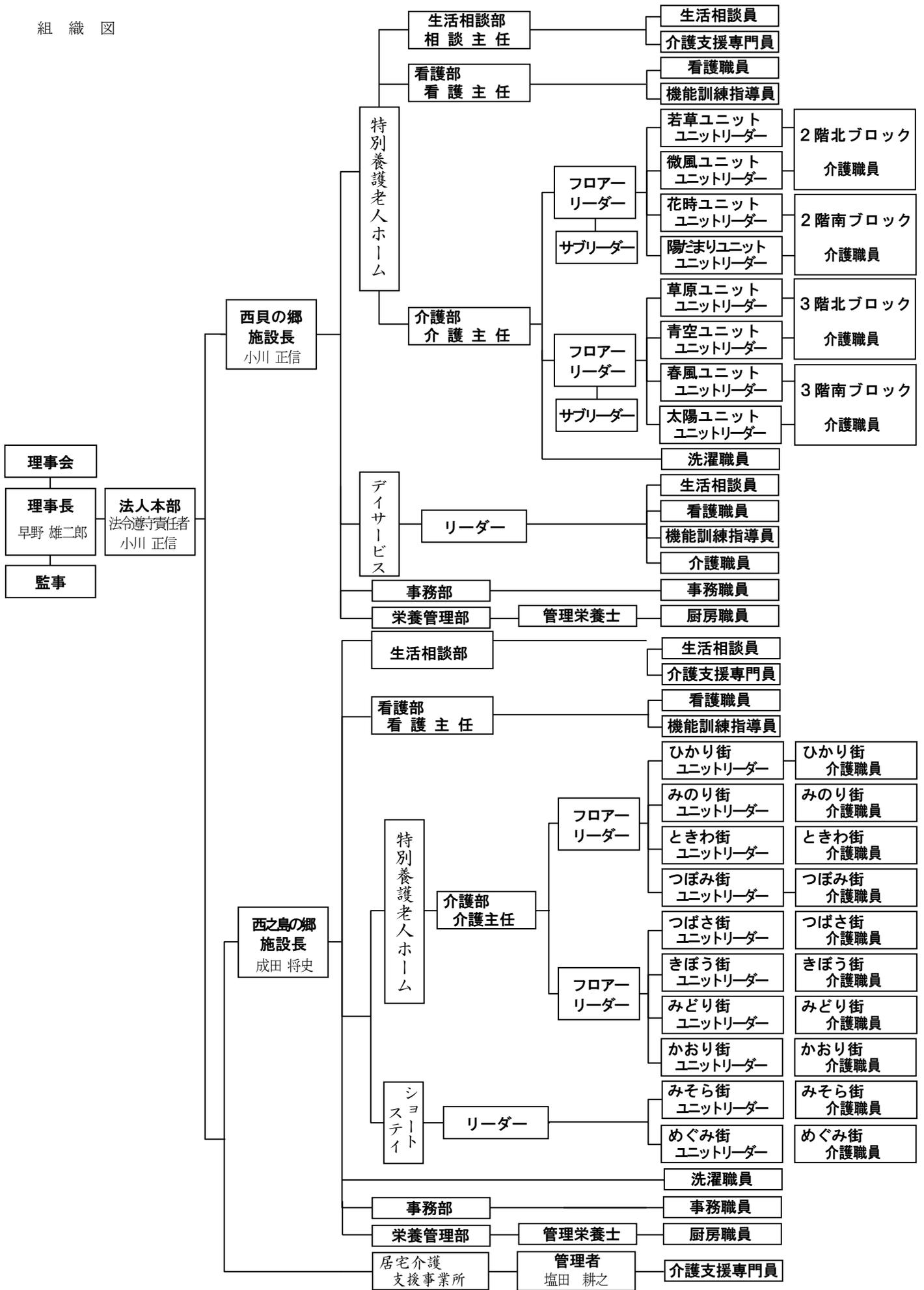
年月日	項目	記 事
平成 30 年 4 月 2 日 (月)	新任職員入職式	新規学卒 9 名参加
平成 30 年 4 月 2 日 (月) ～4 月 3 日 (火)	新任職員合同研修	新規学卒 9 名参加

平成30年度の機首借入金残高の合計額は、4億3,890万円6千円でした。福祉医療機構の借入金については、償還計画に基づき西貝の郷、西之島の郷合わせて元金5,387万円、利息726万4,200円の償還を行い、期末の借入金残高は合わせて3億4,988万円です。償還財源は、償還助成金（元金助成及び利子補給）約1,144万1,180円、残金は介護保険収入をもってこれに充当しました。浜松信用金庫の借入金は、平成31年1月18日、全額繰上げ償還を行いました。当期返済額は元金3,515万6千円、利息26万9,832円、すべて介護保険収入を充当しました。

(単位：円)

拠 点 区 分		西貝の郷	西之島の郷		合 計
借 入 先		福祉医療機構	福祉医療機構	浜松信用金庫	
期 首 残 高		101,350,000	302,400,000	35,156,000	438,906,000
当 期 償 還 額	元 金	20,270,000	33,600,000	35,156,000	89,026,000
	利 息	1,216,200	6,048,000	263,754	7,527,954
	計	21,486,200	39,648,000	35,419,754	96,553,954
当 期 償 還 補 助 金 額	元 金	10,135,000	573,150	0	10,708,150
	利 息	202,700	440,810	0	643,510
	計	10,337,700	1,013,960	0	11,351,660
期 末 残 高		81,080,000	268,800,000	0	349,880,000
返 済 期 限		2022年12月10日	2027年2月10日		

組 織 図



事業報告の附属明細書

該当事項なし